

会 議 録

	令和7年度第1回 JR北信太駅周辺地区まちづくり懇談会
開催日時	令和7年8月27日（水）19時00分から20時10分まで
開催場所	和泉市北部リージョンセンター1階 集会室1・2・3
出席者	都市デザイン部長、都市整備室長、道路河川担当課長、都市政策室長、 都市政策担当課長、交通担当課長、生涯学習部次長 他事務局5名 参加者（委員・オブザーバー） 14名 傍聴 2名
会議の議題	1 開会 2 北信太駅前整備事業（事業進捗及び事業予定）について 3 質疑応答 4 その他報告 5 閉会
会議録の 作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
その他の必要 事項（会議の 公開・非公開、 傍聴人数等）	会議公開、傍聴2名

審 議 内 容 （発言内容、審議経過、結論等）

1 開会

（都市デザイン部長あいさつ）

2 北信太駅前整備事業（事業進捗及び事業予定）について

（事務局説明：【資料 1】令和 6 年度事業進捗及び令和 7 年度事業予定の報告）

3 質疑応答

【委員 A】

駅東側の市営駐輪場の本設場所について、また、駅東側の駅前広場の範囲や用地買収の状況について知りたい。

【事務局】

駅東側の市営駐輪場について、本設位置は地権者の方と交渉中のため資料にはお示しできない状況ですが、現在開設しています仮設駐輪場の近辺と考えています。また、東側の駅前広場については 67%程用地取得済みであり、あとは美容室、コンビニエンスストア、JR 敷地の一部などについて、令和 8 年度中の用地取得を目指し鋭意交渉中です。あとは、駅前線については、信太貝吹山古墳の隣にある民間駐車場のところが計画線にかかっているため、地権者の方と用地交渉の上、整備を予定しています。

【委員 A】

自身は、コンビニエンスストアは残ると耳にした事があるが。

【事務局】

コンビニエンスストアは、事業用地内のため駅前広場として整備予定です。

【委員 B】

地下通路閉鎖については、市はこれまで各町会にどのように説明してくれていたのか。

新たに整備された自由通路は、地下通路に比べて高低差が大きく昇り降りが大変といった周囲の声を聞く。

【事務局】

地下通路を閉鎖しないでほしいというお声は、市にも数件頂いています。

これまでの説明経過については、『北信太駅前整備基本計画』（H31.3 月）を策定する中で、

地下通路活用案（地下通路を活かし新たにエレベーターを設置）と上空通路新設案（新たに鉄道上空に自由通路を整備しエレベーターを設置）を比較しています。地下通路活用案の課題として、地下通路は JR の財産で、当初は JR が使用するため設置されたものであるため、その後西口改札の設置に合わせて平成 24 年に市が表面管理する形で自由通路化しているものの階段しかないことや、防犯面から児童の通学路としては使用できないことが挙げられます。このため、長期的な視点では、上空通路としエレベーターを設置する方が良いという考えのもと、地下通路よりも高低差が大きくなることを提示した上で、上空通路案とする事を説明させて頂いています。また、上空通路の整備に合わせて地下通路を閉鎖する事についてもこれまでの懇談会において説明をさせて頂いております。

【委員 B】

具体的に階段が何段になるかも含めて、歴代の町会長へ説明してくれているんですね。

【事務局】

階段の段数まではお示ししていませんが、上空通路新設案とした場合、高低差が地下通路よりも大きくなるため移動距離が増える事についても設計段階から説明はさせて頂いております。

【委員 B】

段数までお示し頂いていたら、誰も賛成しなかったはず。

【事務局】

これまでの懇談会において繰り返し説明をさせて頂いて、現在に至ります。ご理解頂くほかないです。

【委員 B】

納得できない。自由通路の高さを低くしてくれば良い。

【事務局】

JR との協議を行う中で、鉄道の安全のため軌道上の高さを確保する必要があります。その範囲の中で、可能な限り自由通路の床面を下げています。

【委員 B】

JR に対して、自由通路の床面を下げてもらおう努力を市はしたんですか。線路の架線を見ると、和泉府中駅は架線の高さを低くしているから自由通路の階段の段数が北信太よりも少ない。

【事務局】

JR の規定で必要な離隔距離は決まっています。和泉府中駅の場合は、北信太駅とは異なり、橋上駅として自由通路と鉄道施設が一体となっており、その場合の JR の規定に基づいた離隔距離を取って自由通路を整備しています。

【委員 B】

JR との交渉次第で低くできたはずである。

【事務局】

その JR との協議を行った結果であるため、ご理解頂くほかありません。

【委員 B】

理解はできないが、次の質問。

先の回答で、平成 31 年に基本計画を策定とあったが、北信太駅前線は、そもそも昭和 40 年代に都市計画決定している道路である。なぜこんなに期間が空いているのか。鶴山台の方々は、新住宅市街地開発事業当時、駅前まで道が通るという事で家を購入されているはず。まずは遅れた事について、市はお詫びをすべきである。

【事務局】

北信太駅前線は、昭和 41 年に都市計画決定し、大阪和泉泉南線までは鶴山台の新住宅市街地開発事業により整備されているものの、そこから駅までの区間は未整備の状態となっており、事業化するまでに期間を要したのは事実です。過去にも事業化を目指し動き出したものの地権者からの理解が得られないなどの理由があったためで、これまで何もしてこなかった訳ではありませんが、事業化が遅くなった事についてはお詫びいたします。

また、事業に着手している現在においても、短期で整備完了する訳ではありませんので短期・中期・長期に分けた計画とし、できるだけ早期の整備完了を目指しております。この間、地域の皆様方にはご不便をおかけする事となりますが、ご理解頂けたらと思います。

【委員 B】

自由通路の高さに関連して、床面を今からでも低くできないというのなら、西側にもトイレを作ってください。今までよりも東西の移動に時間がかかるため、間に合いません。

【事務局】

そういったご意見は今回初めてお伺いするのですが、駅東側にトイレが現状あるので、西側に新たに設置する考えはございません。

【委員 C】

自由通路について。エレベーターを必要とする方にとって良い施設ができたと感じるが、朝の通勤通学時など急いでいる方もおられる。自由通路も地下通路も、両方使えるようにすれば良いのではないか。地下通路を閉鎖しなければならない理由があるのなら、教えて頂きたい。

【事務局】

地下通路は JR の財産です。市は、地下通路に代わるものとして自由通路を整備しておりますので、自由通路の整備後は JR に地下通路をお返す事となります。また、線路下に築 60 年超の構造物を空洞のまま残しておく事は JR として将来的に維持管理上の支障と考えられているため閉鎖という協議結果に至っております。

【委員 B】

鉄道施設は 100 年使えるはず。閉鎖する必要はない。市民の利便性を最優先に検討頂きたい。ちなみに、閉鎖しないで地下通路を継続利用したい方はどれだけおられるか。(出席 14 名中、5 名)。遠慮して手を挙げていないだけかと思う。地下通路は閉鎖しないでください。埋め立てるために予算は使わないでください。

【委員 D】

話は変わるが、駅東側において無電柱化は結局するのか。

【事務局】

検討の結果、無電柱化は駅の東側、駅前広場を含む駅前線のみ実施としております。したがって、太町 2 号線及び 18 号線においては無電柱化をいたしません。

4 その他報告 (資料 2、3 関係)

(事務局説明：【資料 2】鶴山台団地跡地利用勉強会における検討結果について報告)

→質問なし

(事務局説明：【資料 3】阪和東側 1 号線における交通安全対策について報告)

【委員 B】

この事業は、大阪岸和田南海線の整備完了に合わせて行う事業なのか。

【事務局】

市が行う富秋中学校区等まちづくり事業において、現在の富秋中学校の場所で小中一貫校を導入する予定としており、令和9年4月開校予定と聞いております。小中一貫校化されれば小学生も通学路として2ページ目にお示ししている踏切を通る事となりますので、安全対策のため、狭窄を行い、通行車両の速度抑制を図るものとなっています。

【委員 B】

もともと信号が無いのでスピードを出して通行する車両が多い。狭窄により同時に相互通行できない事となるのか。

【事務局】

現時点での案としてお示しさせて頂いています。警察との協議によって変更となる可能性はあります。

【委員 A】

狭窄箇所は決定していますか。

【事務局】

現時点で決定はしておりませんが、道路の区間が長いので狭窄箇所は1箇所では済まないかと考えています。

【委員 A】

この地域は、秋祭りがありますのでご配慮頂きたい。

【事務局】

だんじり曳航に影響が出ないように検討を進め、ご説明できる案が出来ましたら関係者の方々へご説明に伺います。

【事務局】

他にご意見おありの方がいらっしゃらないようなので、これにて閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

5 閉会

— 終了 —